

北部病院だより 第126号(2018.12)

Showa University Northern Yokohama Hospital

- 【巻頭言】 いまの手術室に必要なものは？
- 【TOPICS】 うつ～なぜ女性はうつになりやすいのか～
- 【TOPICS】 ロビーコンサートのご案内
- 【TOPICS】 栄養科だより
- 【患者さんからのご意見・ご要望】
- 【診療統計】
- 【医師の配属・異動・退職】
- 【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言 いまの手術室に必要なものは？

麻酔科の橋本 徳と申します。昭和大学横浜市北部病院を2013年3月に一旦辞してから出身地の神戸で4年間を過ごし、2017年5月に縁あって復帰させて頂きました。

「IT化を進めなければ！」—4年振りに北部に赴任してまっ先に感じたことであります。以前、麻酔科の小坂教授が手術室全体の進行状況が一目で判る大画面のモニタの構想を語っておられたのを記憶しておりますが、早期の実現を望みます。

総手術件数は2013年に8,019件であったものが2017年には8,558件に漸増しており、これは諸科ならびに関係各位による努力の賜物であり北部病院の益々の発展は喜ばしいのですが、それに見合うだけの人的資源や設備への投資が行われ、現場への負荷が軽減されればと期待します。

電子カルテ、電子麻酔チャートに関しては、以前からのシステムを使用しています。電子カルテのメジャー・アップデートは2008年以来行われておりません。2020年に旗の台の現行システムに変更するとは聞いていますが、変更点等、事前のWG立ち上げなどによって明らかにして欲しいところです。

医療情報部には普段から種々のトラブル時に大変お世話になっていますが、さらに「より良いものになるよう」期待したいと思えます。すなわちアップグレードに向けて現場の要求を蓄積したり、改良すべき点を専門的な立場からご提案いただきたい。

年間手術件数が8千件を超える大手術室ですが、部屋数は10室のままでやりくりをしています。

局所麻酔など各科管理を除く麻酔科管理件数は2013年に5,404件から2017年には6,098件に増えておりますが、麻酔科医の人数は（非常勤も含めて）20人から17人に減っております。新入局者が少ないのは私どもの努力が足りない面もありますが、ベテラン勢の定年&異動によるダメージも大きく、2018年には准教授・大江先生が昭和大学病院附属東病院に診療科長となって異動されました。

諸科の御協力のもとに土曜日にも複数列で手術をするようになりましたが、はたして患者さんの利便性は向上したのか。政府の主導する「働き方改革」とは異なる試みとして、平日遅くまで診療が延びている診療を变形労働時間制の採用によって来年度は祝日・振替休日に移動し、診療日を増やすことが決まったそうです。特に来年は、新たな天皇陛下の即位が予定されている5月1日も休まず救急患者さんのほか医療難民を救済する目的で対応予定です。しかし、各自の勤務時間は増やさない方針、ということは必然的に各診療日の人員が手薄になることとなります。職員は家族と休む日が解離しますし、祝日に保育所を探す苦労もあるかと思われれます。現場の職員と患者にそのしわ寄せが来るのではと危惧しております。

仕事の総量が増えて人数が減っているなら、効率化を図る以外に方法はありますが、この規模の手術室では各自の創意工夫くらいでは対処できるレベルを超えています。システムの効率化が絶対に必要です。

以前ほど日本初とか世界に向けて発信とかいう話題が聞こえてこないのも心配です。IT化についても附属4病院間のネットワーク構築が計画されており、今後データの汎化くらいは実現していかないと、医療界の最先端からはどんどん取り残されていっているのではないかと考えております。いま話題のAIについても、消化器センター・工藤先生はさすがAIを利用した診断システムの開発など最先端を走っておられますが、物流や人員配置に関してもっと利用する余地があるのではないかと考えます。

システムの更新・刷新、教育、増員がなされれば、3割以上の効率化（手術室占有率、残業代の削減など）が達成できると考えています。またそれに伴い手術・麻酔の安全性や患者満足度の向上も必然的になされるであらう。

以上、最近の北部病院での仕事について思うことを述べました。

現在も含めて、これまでの北部病院麻酔科は若くて未熟な点もありますが、患者の予後および各科の手術への貢献を第一に考えており、麻酔への意欲および麻酔への愛に満ちた医療人として本当に良いチームだと思っております。



麻酔科
橋本 徳 講師

TOPICS うつ～なぜ女性はうつになりやすいのか～

うつとはゆううつ感や無気力な状態が続き、物事を悪いように考えたり、思考力が低下したり、不安な気持ちや焦る気持ちが生じたり、不眠、食欲不振が出現し、日常生活に支障をきたす状態です。正常な気分の落ち込みとは違い、気分転換を図っても改善せず、その状態が2週間以上持続します。また生涯に女性の5人に1人、男性の10人に1人が罹患し、女性が男性の約2倍かかりやすい病気です。うつでやる気がでない状態が続いているのはストレスなどによって脳内の神経伝達物質（セロトニン、ドパミン、ノルアドレナリン）が低下した状態のためであり、性格が弱いからでも、甘えているからでもなく、脳のエネルギーが枯れてしまっているのです。



メンタルケアセンター
稲本 淳子 教授

うつを呈する病気はうつ病を始めとして、双極性障害（躁うつ病）のうつ病相、抑うつ神経症、適応障害、パーソナリティ障害、月経前症候群、マタニティブルー（産後うつ）、更年期障害、認知症など様々です。また甲状腺機能低下症や癌、慢性関節リウマチなどの身体的な病気でもうつを呈します。

うつは死別や激務、過労、リストラ、結婚、妊娠、出産、昇進、引越などライフイベント（分岐点）などを契機に発症することが多いです。

うつの治療法としては、薬物療法、休息、精神療法があります。薬物療法は抗うつ薬を用い、神経伝達物質のバランスを修正します。効果は1～2週間で発現するため、あせらず規則正しく服用します。抗うつ薬がぴったりと合った場合約3か月で症状は改善します。副作用が生じた時は勝手にお薬をやめず、医師の指示に従ってください。副作用としては嘔気、便秘、口渇、眠気が多いです。休息はゆったりとした気分で心身を休めてください。精神療法としては、患者さんには①できるかぎり休養をとるように。②病気に一喜一憂しない。焦らないように。③自分を責めない。④重大な決定はしない。⑤医師の指示に従い治療を受けるように勧めます。また患者さんのご家族には①うつは治療を必要とする病気であること理解するように。②患者さんの負担を減らすように。③患者さんを責めたり原因を追究しないように。④患者さんを励まさず、見守るように。

以上焦らず、あわてず、サポートするように促します。

次に女性のうつについてお話しします。女性は就職、結婚、妊娠、出産、育児、閉経と精神的、身体的、社会的にそのライフサイクルの中で様々な変化に順応していかなくてはなりません。またしばしばどちらか一方を選択し、どちらかを断念するような葛藤をはらんだ分岐点になりやすいと思われます。ライフイベントは女性の性ホルモンが大きく変動する時期に重なり、女性の心身のバランスを揺るがせ、うつに発展することがあります。女性のうつは性ホルモンの変動の大きい月経前期、分娩期、更年期に発症のピークがあります。特に更年期では、女性をとりまく心理社会的要因（老いの自覚、病気や死の体験、社会や家庭の役割の変化）が自律神経系に影響を及ぼし、多数の女性が更年期障害やうつを発症します。

うつは決して怠けや単なる疲労ではなく、治療を必要とする病気です。治療がうまくいくためには病気を正しく理解して、患者さんや家族が治療に参加することが大切です。女性はうつになりやすく、また女性のうつの予防や治療では生物—心理—社会的なアプローチが必要です。

TOPICS ロビーコンサートのご案内



ロビーコンサートを開催いたします。

多くの方にお越しいただけることをお待ちしております。

日時：平成30年12月25日（火）19時～

場所：中央棟1階 会計前ロビー



演奏者：小田木 裕子【音の輪】（うた）

小さい頃からピアノを習いに来ている子供たちがいまだ辞めることなく続けており、今ではピアノのみならず声楽・合唱まで発展。2015年には合唱コンクールへ出場。神奈川県で1位となりました。

ロビーコンサートにも何度も出演している、音楽と人が大好きなメンバーの集まりです。

※日程及び内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



TOPICS 栄養科だより

朝晩の寒さが身に染みる季節となりました。今年も残すところわずかとなり、あっという間に2019年を迎えることになりそうですね。

12月31日は、年越しそばを提供させていただく予定です。

江戸時代には、季節の節目にそばを食べる風習があったようですが、大晦日に食べるそばは「晦日（みそか）そば」「年取りそば」と呼ばれていました。現在のように、年越しそばと呼ばれるようになったのは、明治時代からのようです。



〈年越しそば〉

そばは作り方、出来上がりのどこをとっても、そばを打つ→勝負に打ち勝つ、そばを切る→悪い物を断ち切る、長く伸びる→長寿祈願と、縁起のよい食べ物として愛されてきました。それが今日まで残り、年の瀬にそばを食べて新しい一年を迎える風習となったようです。

病院食では、天ぷらと共に提供させていただきます。皆様のご快復をこころよりお祈り申し上げます。

〈栄養科 星川麻美〉

患者さんからのご意見・ご要望

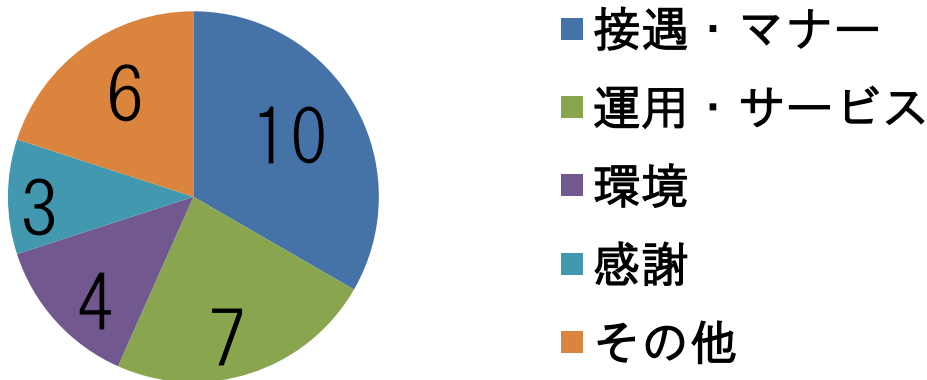
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p><運用・サービスについて> 保険証の提示の際、なぜわざわざ受付票も提示しなければいけないのか？コメントを消すためと聞きましたがとても面倒です。</p> <p style="text-align: right;">他 6 件</p>	<p>貴重なご意見を頂きありがとうございます。</p> <p>当月、保健証の確認がされていないと、受付票にコメントが載ります。受付では保険証を確認し受付票のコメントを二重線で消します。消すことにより、他のスタッフが見ても確認済みと分かり患者さんに再度保険証の提示を求めることがなくなります。何度も保険証のやり取りを防ぐため、お手数をおかけいたしますが、保険証と一緒に受付票の提示をお願いします。</p>
<p><運用・サービスについて> 定期検査の予約を取り、検査の薬品をもらうためだけに3時間以上待ち、診察、予約取得後の内視鏡検査の説明も時間がかかりすぎです。改善をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">他 6 件</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>前回の受診から六ヶ月受診がない場合（キャンセルを含む）、七ヶ月目から初診扱いとなります。</p> <p>そのため、予約診察・検査説明が優先となり長時間お待たせしてしまいました。また、看護師からの検査説明待ち時間への説明が不足しておりました事はおわびいたします。今夏より一年先の検査予約が可能となったため、次回受診時は長時間お待たせすることがないと思います。</p>

平成30年10月 ご意見・ご要望の総計 30件



診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2017年10月(入院:31日・外来:25日)、2018年10月(入院:31日・外来:26日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2017年10月	18,793人(606.2人)	27,978人(1,119.1人)	450件(15.0件)	671件(32.0件)
2018年10月	19,545人(630.5人)	28,014人(1,077.5人)	528件(17.6件)	762件(34.6件)

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属施設より】

・新屋 光一郎 (皮膚科) 昭和大学病院 皮膚科から 2018年12月1日付

【学外研修より】

・島田 翔士 (消化器センター) 2018年12月1日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・須長 由真 (皮膚科) 昭和大学病院 皮膚科へ 2018年12月1日付

【学外研修へ】

・中原 健太 (消化器センター) 2018年12月1日付

【退職】

・井上 真理 (こどもセンター) 2018年11月30日付

編集後記

年の瀬も押し迫ってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年を振り返ってみますと、中国、四国地方の記録的な豪雨など異常気象に関するニュースが多く取り上げられましたが、平昌オリンピックでのカーリング女子の活躍や、ワールドカップサッカーでの日本代表の一次リーグ突破など明るい話題も少なくありませんでした。一方、北部病院に目を向けますと、巻頭言にみられるように、医療に求められる環境はますます高度化あるいは複雑化しています。IT化しかり、職員の働き方しかりです。Topics で述べられている生涯におけるうつ病の罹患数が女性の5人に1人、男性の10人に1人がというデータは驚きではありますが、現代社会における職場のストレスも一因であるのでしょうか。来年も、抑うつ気分を跳ね返す明るい北部病院であるよう、祈念しております。

〈呼吸器センター 教授 北見 明彦〉



北部病院だより 第126号
平成30年12月1日発行
発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)
発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。